

# 「超短納期」で、ものづくりの現場を支える！ DX推進で意識改革を実現し、競争力を強化！

## 川十株式会社

京都市伏見区北寝小屋町49

### 金属材料の精密切断及び加工技術を有し 超短納期を実現する豊富な品揃えの卸商社です



当社は、昭和39年に設立。ステンレス、アルミ、チタンをはじめ、鉄、銅、黄銅や各種合金などの在庫ラインナップを約5000種類以上保有しております。京都一の品揃えを誇り、あらゆる鋼材を切断加工、販売する卸商社で今期で60周年を迎えます。取引先様は約300社以上で現在も拡大中です。約40台の豊富な加工機器を取り揃えており、様々なニーズにお応えする切断加工が可能となっており、1日あたり約300~400件の多種多様な注文があります。また、当社の強みとして「超短納期対応」があります。当日午前受注で当日午後納品、当日午後受注で翌日午後納品に対応しています。この強みを活かしながら、お客様の様々なご要望にもお応えする厳しい品質管理・生産管理システムで多くの信頼と実績を積み重ねて参りました。さらに、オスカー認定企業、ワーク・ライフ・バランス認定企業、KESステップ1取得、健康優良法人優良（2021、2022、2023）、ソーシャル企業認証制度[S認証]などに選出されるなど、常に様々な取り組みにチャレンジをしています。

DX化の推進で社内全体へDX思考を浸透させ、「高い品質かつ「超短納期」の川十」というブランド力を強化し、さらに成長して参ります。

### 業務の属人化を避けるためのDX導入 重要なのは社員の意識改革

「超短納期」の実現で、取引企業様や受注件数も大幅に増加、事務員・作業員ともに分刻みで業務に集中・没頭しているため、声が掛けづらくなり社員同士が互いの状況がわからない、社内の状況が共有できない、個々の負担がわからないなど、コミュニケーション不足に伴う、属人化への傾向が課題として内在していました。それらを解決するために、業務を平準化し、ベテランと新人の仕事量やスピードの差を解消させ、さらに「超短納期」を強化させるためのシステムの導入とDX化が必要でした。業務の見える化・最適化を図るために、どのようなプロセスを経て改革できるか模索する中で、DX実践講座を受講しました。講座では異業種の企業や立場が異なる方々とのグループワークを通じ、実践例や失敗例などを様々な角度から客観的に学ぶことでDXに対する認識を深めることができました。講座の中で特に驚いたのはデジタル導入をしなくてもDX

の実践は可能という考え方で、社内全体・社員全員の意識改革によってプロセスを変革し、生産性を高め、競争力を強化していくことが会社の成長に繋がり、企業価値を高め、社員にも還元されていく、そのためには一般社員にDXの概念を浸透させ、必要に応じてデジタル化やシステムの導入を検討していくというDX思考が学べたことが大きかったです。講座では、「顧客に対し、良い製品をより早くお届けする」というビジョンを設定、「超短納期」の川十を浸透させることを目標としたDXプランを策定しました。具体的には、業務全体が社内共有できるモニタリングシステムを軸とした社内のビジネスプロセスや生産性の変革です。担当者・機械別の業務量や稼働率を可視化し、ワークフローをシミュレーションシステムで最適化。ボトルネックとなっている段取り作成の業務を平準化させ、KPIの数値設定や効果検証を社員全体で行っていくことで、システムの利便性を実感してもらい、社員の意識改革を促すための計画を立案しました。

### 現時点での取り組み状況と課題

現在は、システム導入後のデータを収集して効果検証の徹底を図り、改善を重ねています。高い生産性を発揮したパターンの数値を抽出し、エビデンスを深く追求することで、安定してワークフローの再現が可能かを調査したり、「超短納期」のために設定した目標数値に誤りがないか検証したりするなど、システムの運用や利活用に対して全社員が当事者意識を持って意見を述べることでDXに対する意識改革を醸成させているところです。DXの実施スケジュールとして課題解決に対する施作を検討、実施し、KPIを設定して効果検証するという流れをおよそ3ヶ月単位で繰り返し、精度を高めていくことに取り組んでいます。作業現場では全員が業務の進捗がモニタリングできるようになり、またアラート表示されることで滞っている現場や、業務負荷の偏りが見える化されたことで属人化が解消され、即日納品の達成率及び品質管理の向上にも活かされてきました。今後は、現場の声を反映したUIの設計などの改善を図りつつ、さらに使いやすいシステムへアップグレードする必要があり、社員の意識改革を促進させるとともに、さらなるDXの浸透を目指しています。



### これからも「超短納期」でものづくりを支えます

今はDX化への入口です。社内全体に深くDX化の概念を浸透させ、社員一人一人の意識改革を行ない、常に効果的な方法を全体で考え、共有していけるよう取り組んで参ります。将来的には知識・経験・ノウハウをデータ化・可視化して共有し、今後の新人教育にも活かすための準備をしています。DX化を推進することによって、永続的に「超短納期」でものづくりを支えることが目標ですが、その過程で「ワーク・ライフ・バランス」の充実を図り、働きやすい職場づくりで、従業員・顧客共に満足度が高い魅力的な会社となり、成長を加速して参ります。